

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

作成日：2025 年 7 月 31 日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」			
ゼミ名	ソーシャルデザインと IT の力 ～未来のしくみを IT でつくる～			
講師幹事名	森山 和浩 (H12 社)		大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学 期	R7 (2025) 年 春夏 ・ 秋冬	開講時間	水曜 4 ～ 5 時限	
【授業の目的・到達目標】 現代社会と切り離せない関係にある IT。EC ショッピングサイトや電子マネー・クレジットカード決済などの個人向けのサービスから、飛行機や新幹線の予約システム、官公庁や地方自治体で使用する各種申告システムなどの社会インフラに至るまで、生活の隅々にまで IT は浸透している。したがって、新しい IT サービスを考えることは、IT の力による新しい社会を考えることとほぼ同義になっている。 講義では、IT を活用した社会課題解決・ソーシャルデザインがどのように行われているか、様々な領域におけるビジネスの最前線で活躍する OB・OG による講義を通してその実情に触れるとともに、ソーシャルデザインの検討に際し実際に使用されているツールを用いたハンズオン学習や、その IT サービスを実現している実地の見学なども通じて学んでもらいたい。				
【上記目的・目標達成方法】 ソーシャルデザインが実際にどのような形で私たちの生活に実現されているのかを理解することを目的として、IT を活用したソーシャルデザイン・社会実装を行っている各領域のビジネスパーソンからの講義を聴講するとともに、講師－受講者間および受講者同士での意見交換を行う。 また、具体例を通じた理解深化を目的として、デザイン思考をベースにした NTT データの手法であるソーシャルデザインツール「DCAP」を活用したソーシャルデザイン方法の実践、更にはそれを「クラウドサービス」として実現する現場であるデータセンターの見学を行う。				
【授業の内容と計画】				
月日	講師名	卒年 学部	社名・役職 (※役職は作成日現在)	講義内容
9/24 @一橋	山口 重樹	S59 経	株式会社クニエ 代表取締役社長 株式会社 NTT データ経営研究所 代表取締役社長 株式会社 NTT データグループ 顧問	・ 講義概要説明 ・ 生成 AI はデジタル社会をどのように高度化するか
	佐々木 俊哉	R01 経	株式会社 NTT データ経営研究所 ビジネストランスフォーメーションユニット マネージャー	・ 企業・社会の DX を推進するコンサルタントの活動 ～個別企業に対する支援に留まらない様々なアプローチ～
10/8 @一橋	花谷 昌弘	H08 法	株式会社 NTT データ 金融イノベーション本部 ビジネスデザイン室 部長	・ デザイン思考ツール「DCAP」概要説明 ・ 「DCAP」ツールを用いたソーシャルデザインの実践
	高橋 佑毅	H16 経	株式会社 NTT データグループ コーポレート戦略本部 コーポレートインテリジェンス統括部 部長	・ グローバル IT サービス市場の概観とオペレーション
10/22 @一橋	吉田 圭佑	H28 法	株式会社 NTT データ コンサルティング事業本部 アセットベースドサービス推進室 課長代理	・ X(Twitter) データを活用すると、なにができるのか
	西村 康宏	H09 社	株式会社フォーデジット 執行役員 APAC 統括	・ Case Study of service design in Southeast Asia
11/5@ 一橋	大光 友里恵	H20 商	株式会社 NTT データ システムインテグレーション事業本部 テクニカルエンジニアリングサービス事業部 課長	・ 「IT コンサルティング」とはなにか ～NTT データにおける実践事例～
	井芹 康夫	H11 商	株式会社 NTT データ ペイメント事業本部 ペイメントプラットフォーム事業部 部長	・ いつもの生活を便利に！お得に！ キャッシュレスサービスを通じた社会課題解決 ～IT が広げるキャッシュレスの可能性～ ・ ゼミの中間振り返り

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

月日	講師名	卒年 学部	社名・役職 (※役職は作成日現在)	講義内容
11/19 @一橋	鎌田 俊介	H14 経	総務省 総合通信基盤局データ通信課 課長	・ 電力と通信の効果的な連携（ワット・ビット連携）について
	富永 洋	H08 社	株式会社NTT データ 第三公共事業本部 デジタルソサエティ事業部 部長	・ 公共サービスにおける個人認証技術
12/3 @一橋	川原 義幸	H12 商	株式会社NTT データ 第二金融事業本部 第二バンキング事業部 統括部長	・ 地域金融の心臓を守れ！ ～システムインフラが紡ぐ社会の安心～
	半谷 千紘	H26 経院	同 課長代理	
	森山 裕理	R02 商	同 主任	
12/10 @NTT データ 三鷹	田澤 直輝	H27 社	株式会社NTT データ ソリューション事業本部 クラウド&データセンタ事業部 課長	・ IT 社会を支えるクラウドサービスについて
	森山 和浩	H12 社	株式会社NTT データ 社会基盤ソリューション事業本部 企画部 部長	・ データセンター見学会（@NTT データ 三鷹 データセンターEAST） ・ 全7回の講義を踏まえた理解と「自らが考える ソーシャルデザイン」の発表・提出

【テキスト・参考文献】

事前課題は課しませんが、参加にあたっては自らの周りにある「IT を活用した課題解決」の例、または「IT を活用して解決したい／変革したい社会の姿」について、自身の知識の範疇で構いませんので準備のうえ臨んでください。

上記に加え、講義内容理解のために以下の書籍を推薦します。積極的に事前の知識収集をしたうえで臨むことを期待します。

- ・ 山口重樹 共著 「信頼とデジタル ～顧客価値をいかに再創造するか～」ダイヤモンド社刊
- ・ 山口重樹 著 「デジタル変革と学習する組織」ダイヤモンド社刊
- ・ NTT データ・コンサルティング・イニシアティブ 編集・著
「フォーサイト起点の社会イノベーション 新たな価値を創出するため企業は何をすべきか」 日経 BP 社刊
- ・ デビッド・ロジャース 著 NTT データ・コンサルティング・イニシアティブ 訳
「THE DIGITAL TRANSFORMATION ROADMAP 絶え間なく変化する世界で成功するための新しいアプローチ」 東洋経済新報社刊
- ・ フェン・ジュ、ボニー・インニン・ソウ 著 NTT データ・コンサルティング・イニシアティブ 訳
「スマート・ライバル ビッグテックと戦う企業」 東洋経済新報社刊

【受講生に対するメッセージ、希望】

IT を活用して企業変革や社会変革を実現する「Digital Transformation (DX)」は既に一般用語となりつつあり、みなさんも違和感なく受け入れているかもしれません。

また、既に企業経営やソーシャルデザインについての講義受講やそれらテーマに対する議論を行い、「あるべき企業の姿」や「社会の姿」について考えた経験がある方もいるでしょう。

一方、IT そのものについては技術革新のスピードも速く、実際にどのような技術がどのような「変革」に繋がっているのか、という実態を知る機会は少ないのではないのでしょうか。

いわゆる「IT で社会をデザインする／変革する」ということが、実際にどうやって形成され、実装され、私たちを取り巻く環境を変えているのか、かつ、（技術領域専攻ではない）本学出身者がどのようにその主体者となって推進しているのか、この講義を通じてより具体的にイメージできるようになるとともに、自らも IT を活用した社会変革の担い手になってみよう、と思ってもらえることが、この講義を通じてみなさんに期待するところです。

少しでも興味をお持ちになられたなら、是非ともご参加ください！

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

【過去の受講生の感想】

- 山口さんがお話ししてくださった内容はそもそも何のために IT を企業経営、また社会に導入するのかという根本的な部分をじっくりと考えるきっかけをくださった。IT はただ従来の業務の効率化を目指すためのものではなく、企業の目指すべきゴールや競争のフィールド自体を大きく変えるものだということがよく理解できた。(社会 2)
- IT と IT サービスは同義だと思っていたが、高橋様の講義では、IT は IT サービスなどを包含した定義であることができた。IT 業界の全体像について理解を深めることができた。
花谷様の講義では、IT の枠組みにとらわれないビジネスモデルについての知見を深めることができた。現代においては開発フェーズよりもビジネスフェーズの重要性が増しているというお話を聞き、IT 業界においても文系が大いに活躍できる領域があることを新たに知ることができた。
講義についても、たとえ話を交えて具体で話されており非常に面白く、かつ理解しやすかった。105 分があつという間に感じ、来年度のデジタルソーシャルサイエンス学部の授業をぜひ履修したいと感じた。(法 3)
- x の活用方法についてのお話で、ビジネスにおいてここまで多領域で x 活用の可能性があることに非常に驚いた。それと同時に x で扱うことがデータとしてここまで扱われていることが衝撃的であった。(社会 2)
- システムの詳細についての理解は難しかったが、私が興味を持つ公共分野の仕事について学ぶことができ、有意義な講義だった。特に、公共分野と民間分野の SE の仕事の違いについて詳しくお聞きすることができ、コストよりも品質が重視される点や、財務の健全性、反社会勢力との健全性など評価項目が異なる点が興味深かった。(法 3)
- 前半講義では、クレジットカードというビジネスの仕組みから、購買行動ごと変えうる IT 技術の実践例まで知ることができとても勉強になりました。
クラウド化はどんどん推し進められているものと勝手に思い込んでいましたが、安全保障的な観点がネックになっているのは今回初めて知りました。グローバリゼーションへの懐疑的視点は、IT の世界にもあるということが理解できました。(社会 3)
- 講義前半はメタバースの話を中心に、先生の様々な考え方を知ることができた。講義後半はインフラとしての IT の話で銀行のシステムに NTT データがどのように関わっているのかを知ることができた。メガバンクの話は就活関連で聞くことも多いが、地銀の話は新鮮に聞くことができた。(商 2)
- データセンターに初めていき、いかにセキュリティーに配慮した設備がなされているのかを見た。あらゆる箇所に、火災時への工夫、災害時への工夫、セキュリティーを高めるための工夫が凝らされていて抜かりのない警備体制に驚かされた。
ドラマや映画でしか見たことのない場所を実際に見られる機会はそうないので、このような機会をいただけたことに感謝すると共に、私たちのデータが厳重に守られている姿を見てとても安心した。(社会 2)

以上